

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
福岡ベルエポック美容専門学校	平成16年3月25日	松崎 輝生	〒812-0033 福岡県福岡市博多区太博町4番17 (電話) 092-282-9100				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人滋慶学園	昭和58年12月23日	理事長 浮舟 邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-5878-3311				
目的	専門技術のみならず、多様な個性に対応できる感性、創造力、コミュニケーション力、情報力を有した社会に有用な人材を育成する。ブライダルのプロとして必要な人間力と現場力を身に付けたブライダル業界のオールラウンドプレイヤーとなることを目的とする。						
分野	課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養	文化・教養専門課程	ブライダル科		平成二十二年文部科学省告示第百五十二号		-	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼夜	1860	300	1530	30	0	0
	昼間	単位時間					
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80 人		75 人	4 人	21 人	25 人		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験及び臨時試験(論文・レポートを含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価する。評価はA・B・C・Dで行い、C以上で合格とする。			
長期休み	■学年始:4月1日～4月第1週目 ■夏季:7月第2週目～8月第5週目 ■冬季:12月第3週目～1月第1週目 ■学年末:3月第2週目～3月第5週目		卒業・進級条件	学年ごとに修了すべき教科目について、履修認定の要件として、該当教科科目の7割以上を出席していること、試験に合格している者に対して該当教科目の修了を認定する。			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 本人への連絡と共に保護者への連絡を実施することで、家庭との連携を図り対応を行う。保護者を含め三者面談を実施し、改善を図る。		課外活動	■課外活動の種類 業界と連携した「企業プロジェクト」や「サークル活動(ダンス、英語、ショーチーム、学生スタッフ)」を実施。 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 結婚式場・ブライダル関連企業 ■就職率 ^{※1} : 94.7% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 94.7% ■その他 (平成 26年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	・アシスタント・ブライダル・コーディネータ検定 ・ネイリスト技能検定試験3級 ・山野流 着 装 初 伝・中 3 伝 ・ボディジュエリスト協会3級 ・JESCコミュニケーションスキルアップ検定 ・おもてなしマスター検定			

中途退学の現状	■中途退学者 2名 平成26年4月1日 在学者 59名（平成26年4月1日 入学者を含む） 平成27年3月31日 在学者 56名（平成27年3月31日 卒業者を含む）	■中退率 3.3%
	■中途退学の主な理由 経済的事情	
	■中退防止のための取組 ・担任による個人面談の定期実施。 ・スクールカウンセラーと協力体制をとり、学生の問題の早期発見を図り対応を行う。	
ホームページ	http://www.fbe.ac.jp/	

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

ブライダル業界で必要とされる最新の知識及び技術を教育課程に反映させるため、教育課程編成委員会、業界訪問を通じて企業・業界団体等の意見を活用する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年5月1日現在

名 前	所 属
清水 俊二	ビューティビジョン協同組合 理事
小出 歩明	株式会社 ビーズ 代表取締役
橋本 健太郎	ターミナル 代表
金井 良子	株式会社リクルーティングパートナーズ経営企画部ブライダル総研 研究員
足立 寛之	株式会社サンケイプランニング
古島 昭博	学校法人滋慶学園 評議員
松崎 輝生	福岡ベルエポック美容専門学校 学校長
飯塚 洋一	学校法人滋慶学園 西日本エリア長
塩原 誠	福岡ベルエポック美容専門学校 事務局長
勝原 修吾	福岡ベルエポック美容専門学校 教務部長
加藤 真也	福岡ベルエポック美容専門学校 美容師科学科長代理
有田 まどか	福岡ベルエポック美容専門学校 美容師科学科長補佐
三村 宗緒	福岡ベルエポック美容専門学校 美容師実践科学科長代理
西田 彩	福岡ベルエポック美容専門学校 ブライダル科学科長

(開催日時)

第1回 平成27年5月28日(木) 16:00～18:00

第2回 平成27年9月14日(月) 10:00～12:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

密に情報交換ができる担当者が常駐する結婚式場を選定し、事前に学生の現状や動向を理解し、動機付け～実習後の流れを把握し、教育視点で効果的な実習が展開可能な企業に依頼している。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
現場実習	結婚式の現場にサービススタッフとして立つ事で結婚式に携わるスタッフ・モノの役割を知り、“感動”をスタッフ視点で体感することで結婚式のイメージを具現化する。	株式会社サンケイプラゲンニング

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

学園の研修規程に基づき、教員の指導力の向上、授業力向上、クラス運営力の向上などを目的として研修計画の作成を行う。研修計画については外部機関も活用し、必要な知識や技術を向上できるように体系的に作成を行う。研修実施に際しては、教員個々の現場経験や教育経験、また学園在職期間等を考慮し、それぞれの対象に応じた到達目標を設定し、研修方法や評価指標を的確に定めて実施する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年5月1日現在

名 前	所 属
金田 芙由	卒業生(HAIR MAKE E' LOGE 店長)
松井 裕一	美容師科2年生保護者
田中 浩一	福岡県立福岡農業高等学校 校長
大島 弘枝	地域関係者(福岡市大浜公民館 館長)
清水 俊二	ビューティビジョン協同組合 理事
湯山 英寿	株式会社ダリア 市場外発部長
金井 良子	株式会社リクルーティングパートナーズ経営企画部ブライダル総研 研究員
足立 寛之	株式会社サンケイプランニング

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.fbe.ac.jp/](http://www.fbe.ac.jp/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.fbe.ac.jp/](http://www.fbe.ac.jp/)

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程ブライダル科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			導入教育	目的意識を高め、プロに必要なことを確認できるようになる。	1前 2前	120	8	△	○		○		○		
○			プロフェッショナルへの道	ブライダル業界のプロになる為に必要なマインドを知り、ブライダル業界全般の現状や職種を知る。	1通 2前	90	6	○	△		○		○		
○			就職講座	内定に向けての基礎知識・スキルを身につける。また各企業採用計画を知る。	1後 2通	90	6	○	△		○		○		
○			サービスホスピタリティ	現場で必要不可欠なホスピタリティマインドを意識し、基本的なサービススキルを習得する。	12 通	120	8	△	○		○			○	
○			スキルアップ講座	社会（現場）で通用する人間力を身につけ、おもてなしの精神を知る。効果的なコミュニケーション力を理解し、検定合格を目指す。	1通 2通	120	8	○	△		○			○	
○			ブライダルネイル	ブライダルネイルの知識と技術を身に付ける。	1通 2通	240	16	△	○		○			○	
○			ヘアアレンジ	花嫁様のヘアアレンジの知識と技術を身に付ける。	1通 2前	180	12	△	○		○			○	
○			ブライドメイク	花嫁様のメイクアップの知識と技術を身に付ける。	1通 2前	180	12	△	○		○			○	
○			ドレスコーディネート	ドレススタイリストの役割を知り、ドレスコーディネートに関わる基礎的知識を習得する。	1前 2前	60	4	△	○		○			○	
○			ウェディングプランニング	模擬結婚式/本物の挙式/本物の結婚式にむけて全知識と技術を集約し、進行表作成と確認作業を行う。	1通 2通	150	10	△	○		○			○	

○	ステージエフェクト	結婚式に関わる演出効果（BGM/照明等）を理解し、知識・技術を習得し、ペーパーアイテム（招待状/席次表等）を把握しお客様に合ったものを作成できるようになる。	1通 2通	120	8	△	○	○	○										
○	ウエディングプロジェクト	結婚式や企業プロジェクトなど現場実習を通して現場力を学ぶ。	1通 2前	90	6	△	○												○
○	ボディジュエリー	ボディジュエリストとして必要な基礎知識～基礎技術・3D・クロスアート・ウエディング・和柄テクニックを習得する。	1前	30	2	△	○	○											○
○	山野流着付	和のファッションの代表として、基本的着付けの技術と知識を習得する。	1後	60	4	△	○	○											○
○	フラワーアレンジメント	結婚式で飾られる花の種類の基本知識習得からブーケの作り方などを習得する。	2通	60	4	△	○	○											○
○	トータルコーディネート	テーマに合わせたドレス/ヘア/メイク全てのコーディネートスキルを身に付ける。	2後	60	4	△	○	○											○
○	現場実習	結婚式の現場にサービススタッフとして立つ事で結婚式に携わるスタッフ・モノの役割を知り、“感動”をスタッフ目線で体感する事で結婚式のイメージを具現化する。	1前	30	1					○									○
○	国際教育	国際教育として海外の業界視察を行い、国際人としての知識を身につける。	1後	60	4			○	○										○
合計				18科目	1860単位時間(123単位)														

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
定期試験、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価を行い、必修科目1800時間、選択必修科目60時間を履修した者に対し終了を認定する。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	15週	

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。